

マーサメリー通信

June 22, 2018 Vol.2

mail to info@masmary.com URL masmary.com

後藤勇一郎 私季らいぶ@1111 #5 in Akasaka

Only one, Only in Akasaka

♪ 後藤勇一郎と菊谷知樹。同級生 Duo。楽器を手にした瞬間から世界が変わる。

時に音を刻むように演奏する二人の魅力は、斬新なアレンジ、情熱と迫力の演奏、そして選曲は赤坂 November Eleventh ならではの！ここでしか聞けない曲も。

♪ ご当地 Songs(赤坂特集)、「赤坂ジブシーめどれい」を乞うご期待。

♪ 日頃あまり歌うことのない聖歌を後藤氏のアレンジにより披露。今回は、5月に行われた英ヘンリー王子とメーガン・マークルの結婚式で歌われた聖歌を演奏。

♪ 二人のオリジナル楽曲、「妖怪ウオッチ」などの作品をギターとヴァイオリンで熱く奏でます！

是非気迫のエネルギーを感じてくださいね！

いつも全力投球の後藤さんにライブについてお聞きました。インタビューを是非お読みください。

当日は「私季ランチ」(季節のサラダ & メイン料理 1300円+ tax)もご用意いたします。お楽しみに！学割料金もあります。(^_^)

オーナーは、ミュージシャン・作曲家の宇崎竜童、作詞家の阿木燿子夫妻。1996年より様々なジャンルのライブを行っており、オーナー試食のもと旬の食材を使ったメニューやライブイメージの特別料理、ソムリエ厳選のワインもご用意してお待ちしております。



GOTO & KIKUYA。前回(2017年11月3日)の気迫に満ちたライブはまだ記憶に新しい。以下、前回のライブ・レポートより。

赤坂の地にちなんだ「ご当地メドレー」では、コモエスタ赤坂など、懐かしの歌謡曲をカッコよくアレンジ。ゲラゲラポーの作曲者でもある菊谷さんとの演奏も、こんなに濃密なの！と驚く程の斬新なアレンジに会場が釘付けでした。後藤さんのオリジナル曲の美しいメロディも、心に残ります。特別ランチセット「私季ランチ」も好評でした。

2018年8月25日(土)

開場 12:00 開演 13:00

予約 3000円 当日 3500円

(税別・ご飲食代別途)

会場

November Eleventh 1111 Part 2

港区赤坂 3-17-8 都ビル 2F

電話予約 03-3588-8104 (13時~18時月曜定休)

Online 予約 GOSTU.NET

千代田線赤坂駅、銀座線丸の内線赤坂見附駅下車

徒歩5分 risingdragon.jp

マーサメリー（以下MM）：後藤さんの私季らいぶも5回目を迎えました！今回は、同級生 DUO ですね。よろしくお願いたします！

後藤：今回は盟友かつ同い年の菊谷知樹氏との共演という具合に、共演者がその都度入れ替わるスタイルのこの私季らいぶも、マーサメリーさんとお店のご支援によりあつという間の5回目です。心より感謝申し上げます。

MM：同級生という育った時代背景が同じですが、聴いてきた音楽はいかがでしょうか。共有するジャンルや曲など多いですか？

後藤：話をすれば共通項が色々ありますが、音楽に関しては、ジャンル問わず幅広く耳に取り入れてきたとはいえ、その学ぶ過程が方やクラシック中心、そしてポップス中心という感じなので、多いようなそうでもないような…あまり二人で掘り下げた事は無いです。

MM：後藤さんは子供の頃（子供といいますが、高校生位まで）、どのような音楽をよく聴いていらしたのでしょうか。

後藤：勉強のためにクラシックを、趣味的要素で洋楽やジャズを聴いていました。

MM：その頃に影響を受けた音楽家、もしくは音楽（特定のジャンル）はありますか？

後藤：これぞという音楽家やジャンルはぱっと思いつかないのですが、好きで聴いていたもの、あるいはさほど好きでなくても（笑）必要と思って聴いていたもの、全てに影響を受けています。特に作編曲の面ではそうですね。

MM：菊谷さんとの DUO Live で、楽しい瞬間とはどんな時？

後藤：全てが楽しい瞬間なのですが…そうなる瞬間とは言わないですね（笑）菊谷君は大変真面目で勉強熱心で、リハーサル含め本番まで非常に作り込んで来てくれるので、書いてある事は完璧に弾きこなした上で、書いてない事も、つまりアドリブ的要素も彼自身作編曲家でもあるのでアイデアが豊富で、本当に素晴らしいパートナーに出会えたと思っています。

MM：今までのライブでお客様のどんな反応に驚かされましたか？

後藤：難しい質問ですが、初めましての方にもとっつきやすいように、今回のギターとのデュオのみならず、前回のヴァイオリンデュオその他全ての編成において、耳馴染みの曲をなるべく多く取り入れるようにしているのですが、お客様に書いていただいたアンケートを拝見すると、良かった曲の大半が自作の曲である事に、驚かされつつ大変嬉しく思います。

MM：今回は、聖歌も1曲、ご披露されますね！（ネタばらし=笑=）

後藤：マーサメリープロデュースによる私季らいぶ@1111 独自企画である聖歌を斬新なアレンジでのコーナー、今回もやります！選曲の由来はマーサメリーさんにお任せしますが、「Lord of All Hopefulness」を、原曲の良さを引き出しつつこのデュオならではの斬新なスタイルを挟んだ形に仕立ててあります。乞うご期待！

MM：今回のライブの見どころは？

後藤：菊谷君と出演した前回 11/3 のプログラムから大幅変更し、夏にふさわしい暑い、ならぬ熱いセッションができるようなホットなプログラムになっています。

MM：では聴きどころは？

後藤：全てが聴きどころですが（笑）中でも一曲だけ前回は演奏した曲が入っていますが、おそらくここでしか演奏する事のない、タイトルに赤坂が入っている懐かしの歌謡曲メドレー「赤坂ジブシーめどれい」は必聴です。

MM：皆様にメッセージを！

後藤：ちょうど昨年同日にスタートしたこの「私季らいぶ@1111」、マーサメリーさんやお店にもうこりごとと言われたい限りには（笑）ライフワークとして続けていきたいと思っておりますが、そのためにも一人でも多くの皆様にご来場いただける事が不可欠です。今後もその都度編成を変えたり、新しいアイデアを加えていき常に新鮮に楽しんでいただけるライブを目指していますので、皆様是非足を運びください。

音楽は時に人に力を与え、心を弾ませ、時に慰め癒すパワーを持っています。そんな豊かな時間を作りたくて、November Eleventh で企画・ブッキングのお手伝いをさせて頂いています。November Eleventh は音楽への愛情がいっぱい込められた Live Bistro です。

後藤勇一郎「私季らいぶ@1111 #5」は後藤さんの世界を垣間見ることができるひとときです。ギタリスト菊谷さんと息のピッタリと合った同級生 DUO ライブ。どうぞお楽しみください。

感謝を込めて。

(有)マーサメリー Masako Yasutake masmary.com